

IV 調査結果の詳細

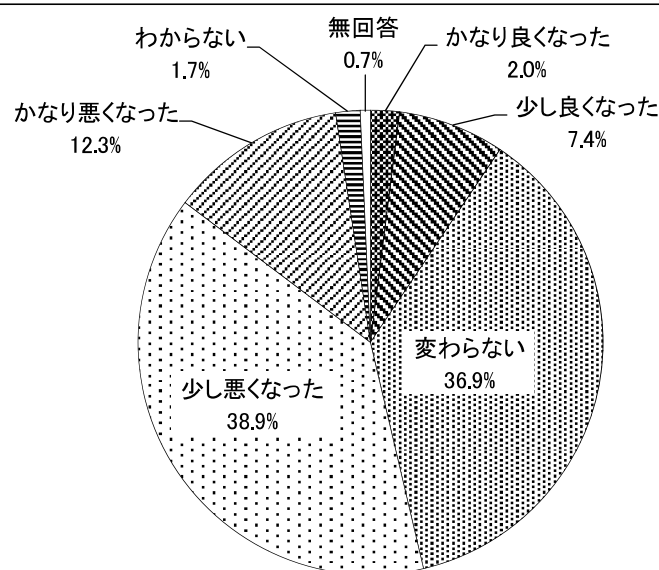
1 暮らしの変化について

(1) 暮らしの変化

問1 あなたの暮らしは、この5～6年の間にどう変わりましたか。次の中から1つ選んでください。

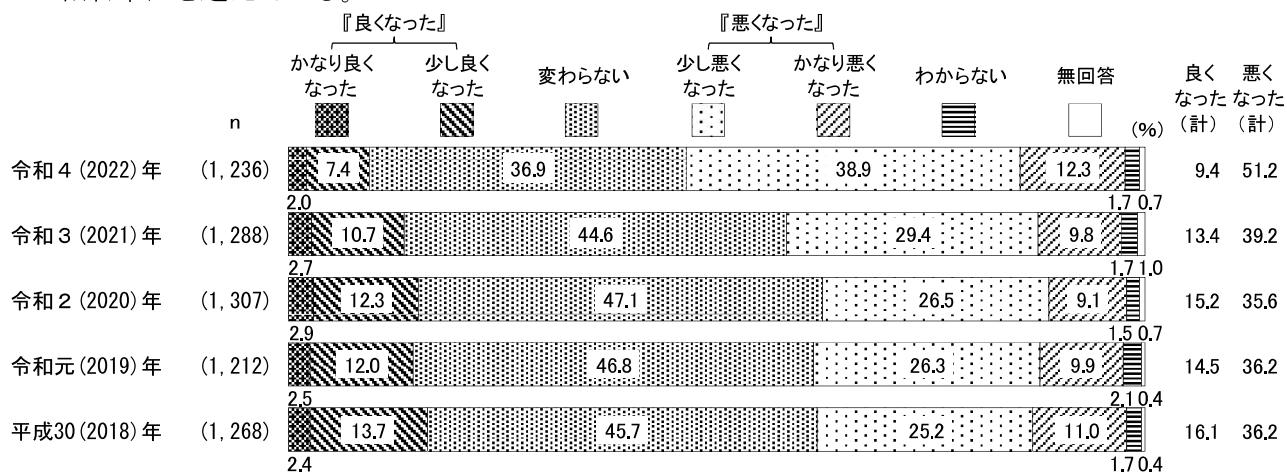
[n=1,236]

1	かなり良くなった	2.0%	4	少し悪くなった	38.9%
2	少し良くなった	7.4%	5	かなり悪くなった	12.3%
3	変わらない	36.9%	6	わからない	1.7%
				(無回答)	0.7%



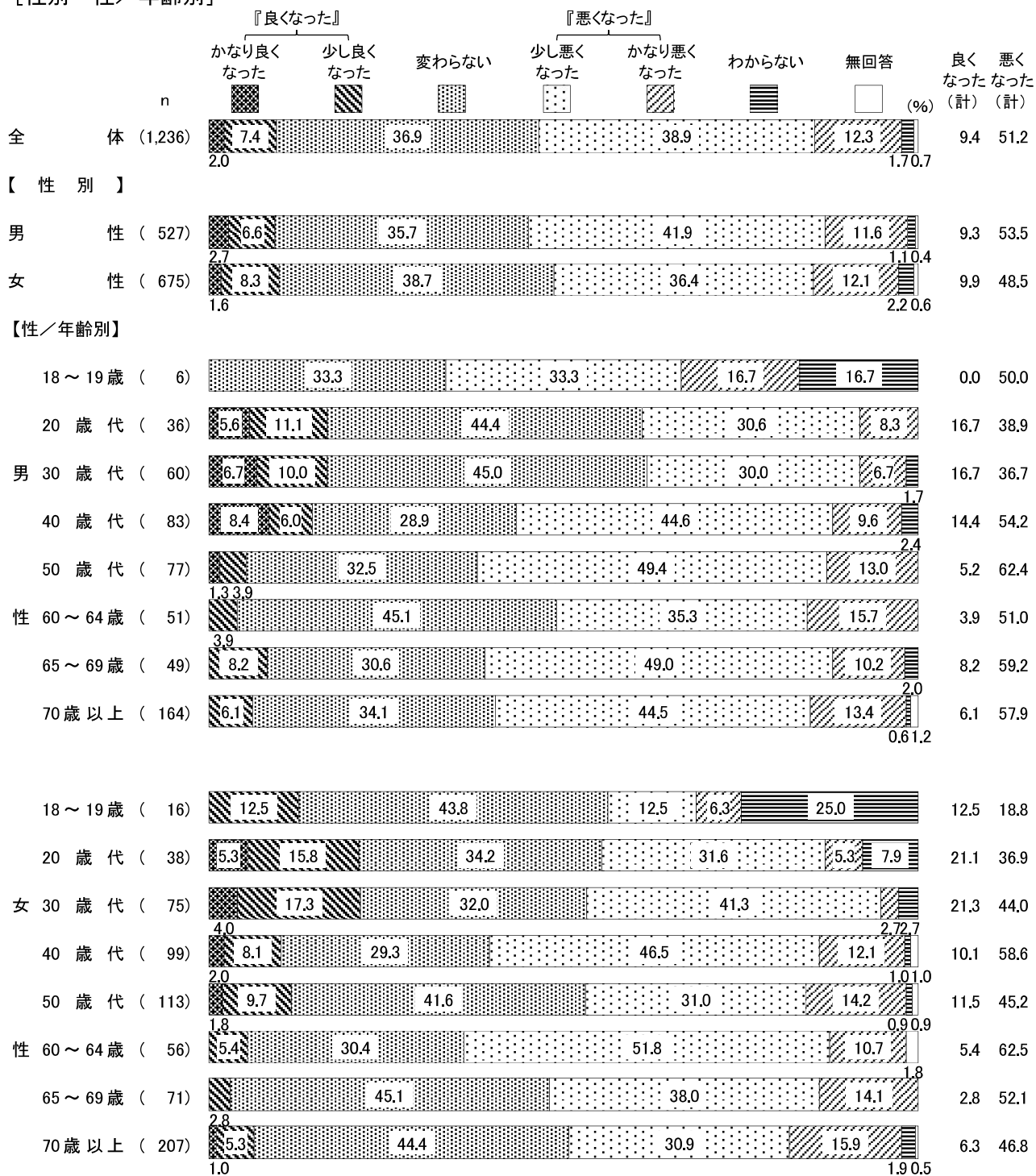
(n=1,236)

全体で見ると、「かなり良くなった」(2.0%)と「少し良くなった」(7.4%)の2つを合わせた『良くなった』(9.4%)が1割弱となっている。一方、「少し悪くなった」(38.9%)と「かなり悪くなった」(12.3%)の2つを合わせた『悪くなった』(51.2%)が5割強となっている。また、「変わらない」(36.9%)が3割台半ばを超えている。



過去の調査結果と比較すると、『悪くなった』が前回(令和3(2021)年)より12.0ポイント増加している。

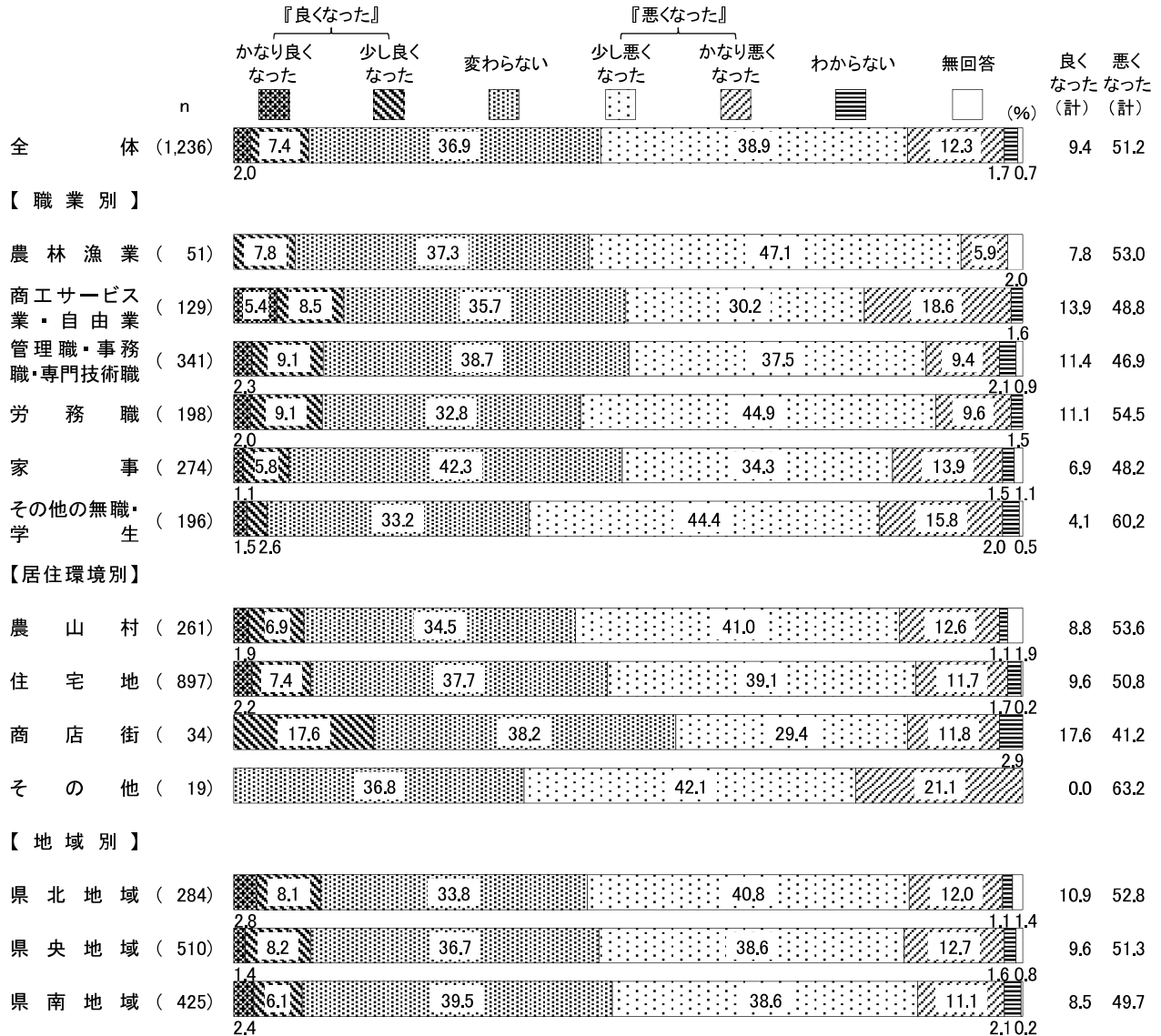
【性別・性／年齢別】



性別で見ると、『悪くなった』では〈男性〉(53.5%)が〈女性〉(48.5%)より5.0ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『良くなった』では〈女性30歳代〉が21.3%、〈女性20歳代〉が21.1%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈女性60～64歳〉が62.5%、〈男性50歳代〉が62.4%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、『良くなった』では〈商工サービス業・自由業〉が13.9%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈その他の無職・学生〉が60.2%と高くなっている。

居住環境別でみると、『良くなった』では〈商店街〉が17.6%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈農山村〉が53.6%と高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

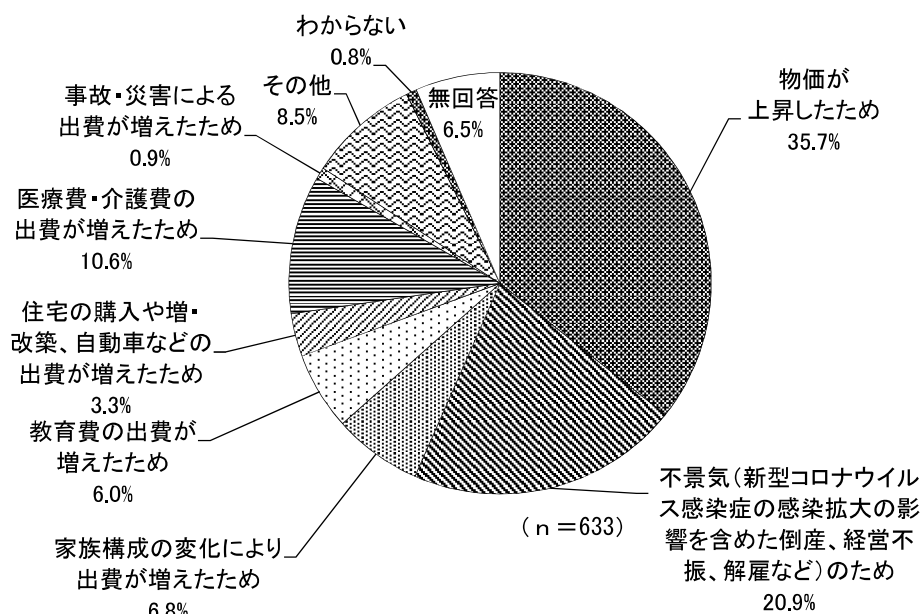
(2) 暮らしが悪くなった理由

(問1で選択肢「少し悪くなった」、「かなり悪くなった」を選んだ方のみお答えください)

問2 悪くなったのは、主にどのようなことからですか。もっとも大きな要因を1つ選んでください。

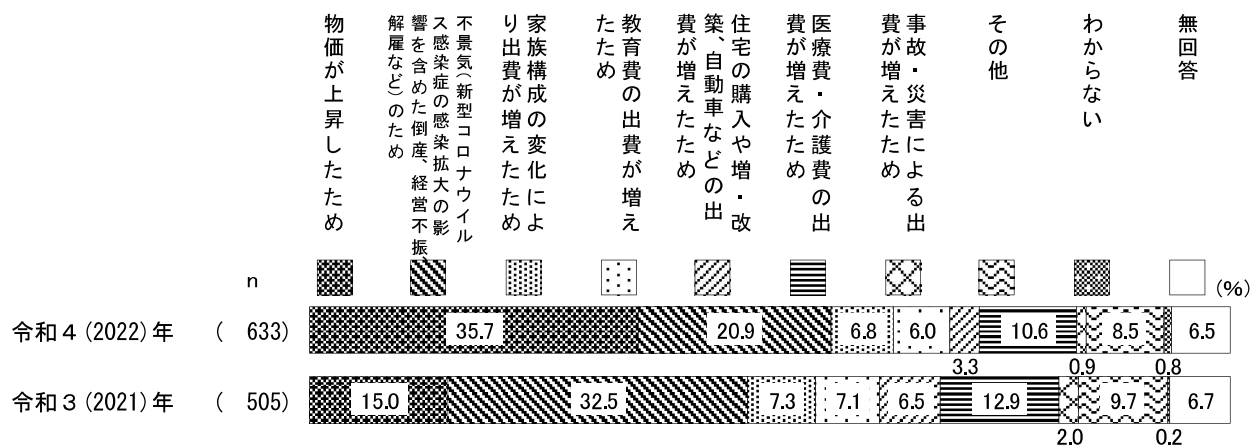
[n=633]

1	物価が上昇したため	35.7%
2	不景気(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を含めた倒産、経営不振、解雇など)のため	20.9
3	家族構成の変化により出費が増えたため	6.8
4	教育費の出費が増えたため	6.0
5	住宅の購入や増・改築、自動車などの出費が増えたため	3.3
6	医療費・介護費の出費が増えたため	10.6
7	事故・災害による出費が増えたため	0.9
8	その他	8.5
9	わからない	0.8
	(無回答)	6.5



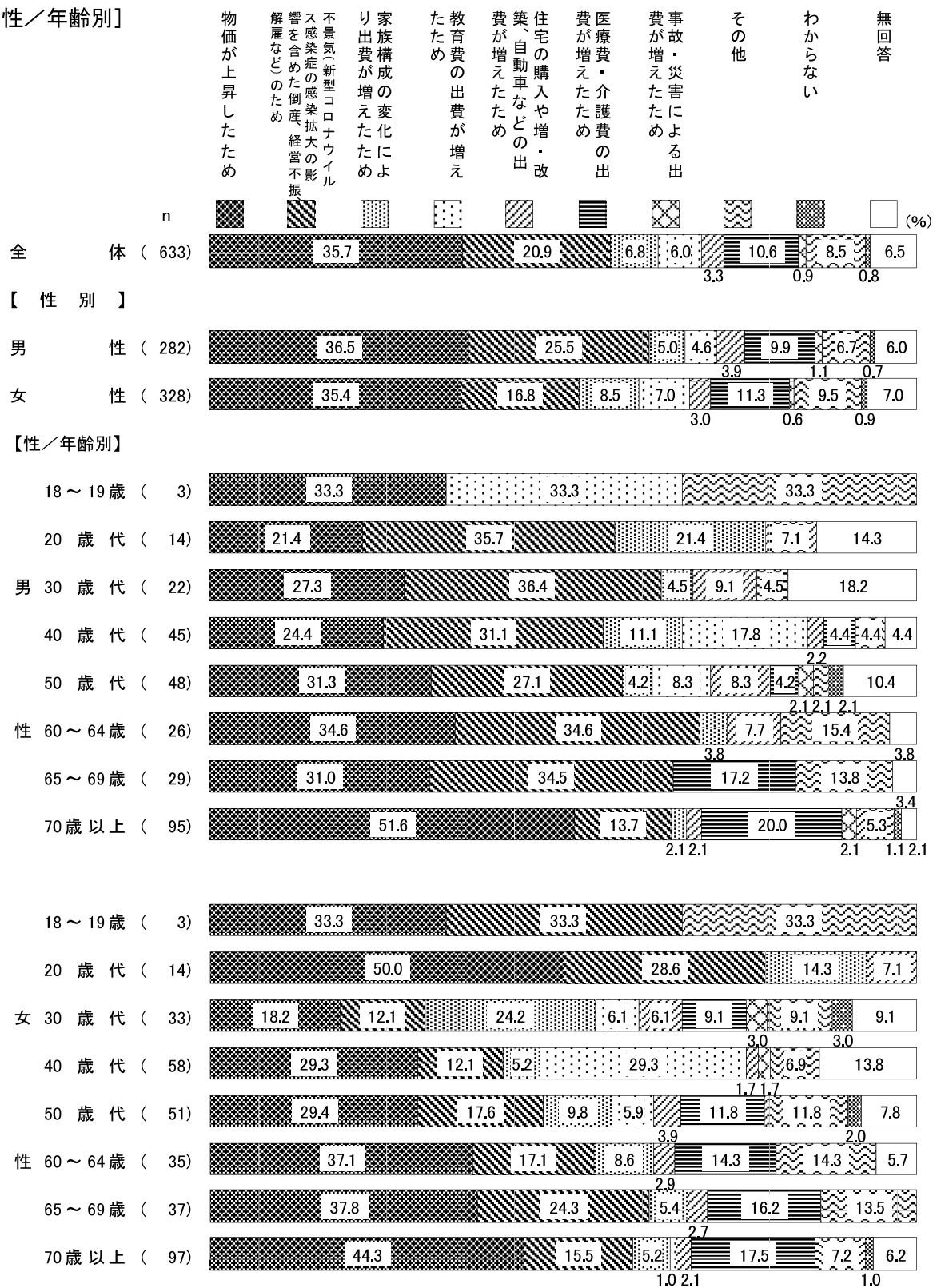
全体で見ると、「物価が上昇したため」(35.7%)が3割台半ばで最も高く、次いで「不景気(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を含めた倒産、経営不振、解雇など)のため(以下『不景気のため』という。)」(20.9%)、「医療費・介護費の出費が増えたため」(10.6%)の順となっている。

[過去の調査結果]



前回（令和3(2021)年）の調査結果と比較すると、「物価が上昇したため」が20.7ポイント増加している。一方、『不景気のため』が11.6ポイント減少している。

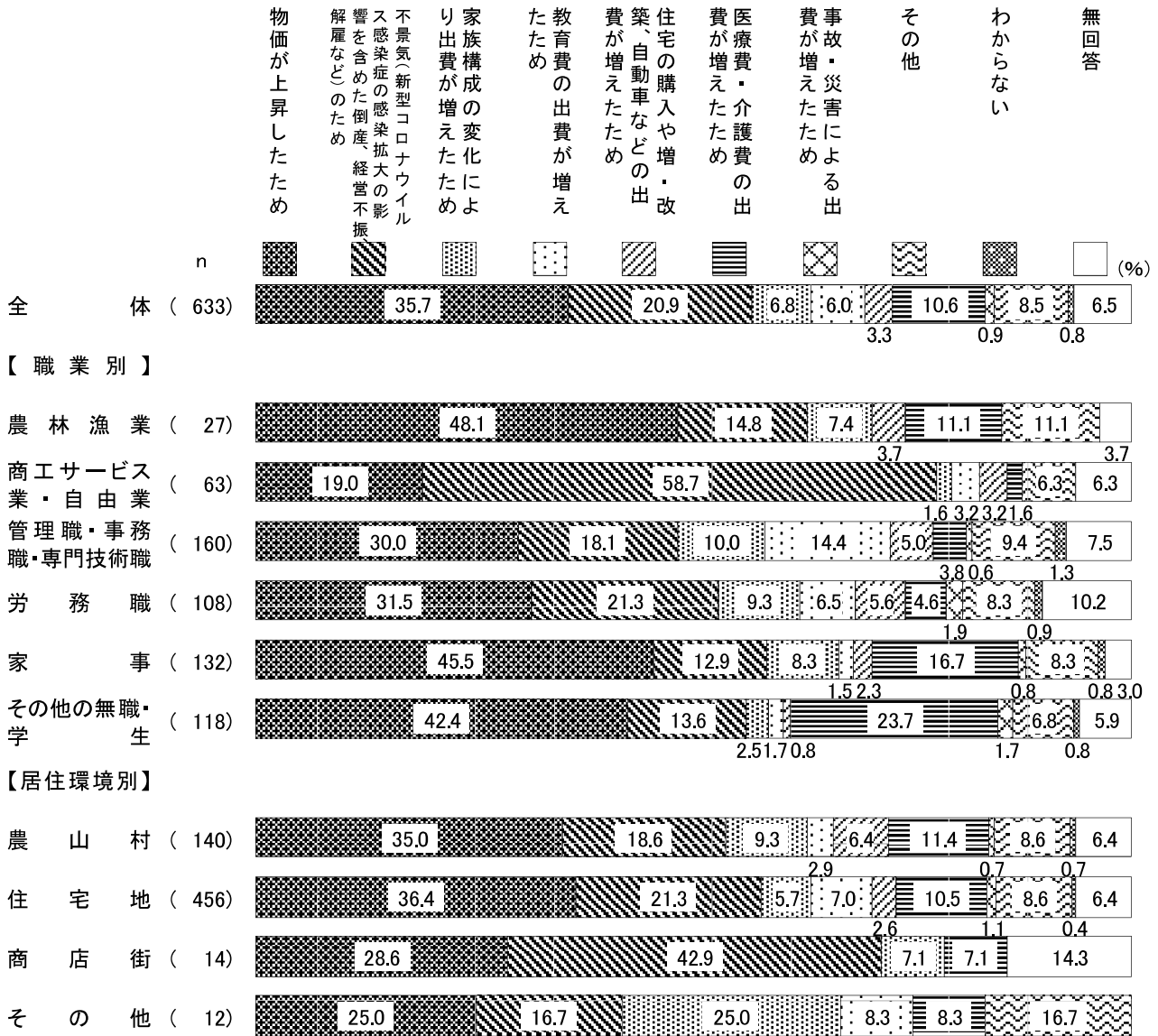
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『不景気のため』では〈男性〉(25.5%)が〈女性〉(16.8%)より8.7ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「教育費の出費が増えたため」では〈女性40歳代〉が29.3%と高くなっている。「物価が上昇したため」では〈男性70歳以上〉が51.6%と高くなっている。また、「医療費・介護費の出費が増えたため」では〈男性70歳以上〉が20.0%と高くなっている。

[職業別・居住環境別]



職業別で見ると、『不景気のため』では〈商工サービス業・自由業〉が58.7%と高くなっている。「医療費・介護費の出費が増えたため」では〈その他の無職・学生〉が23.7%と高くなっている。

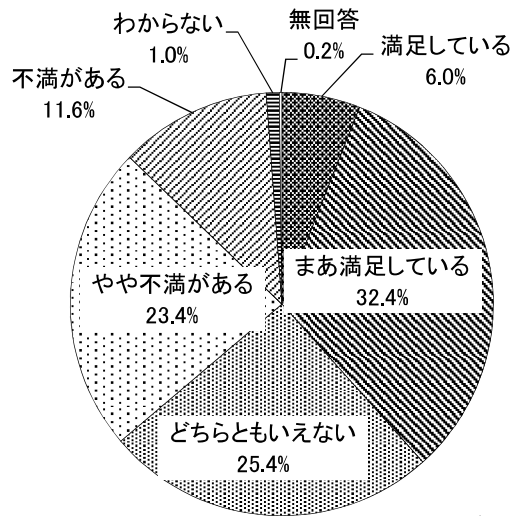
居住環境別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

(3) 暮らしの満足度

問3 あなたは、今の暮らしについてどの程度満足していますか。次の中から1つ選んでください。

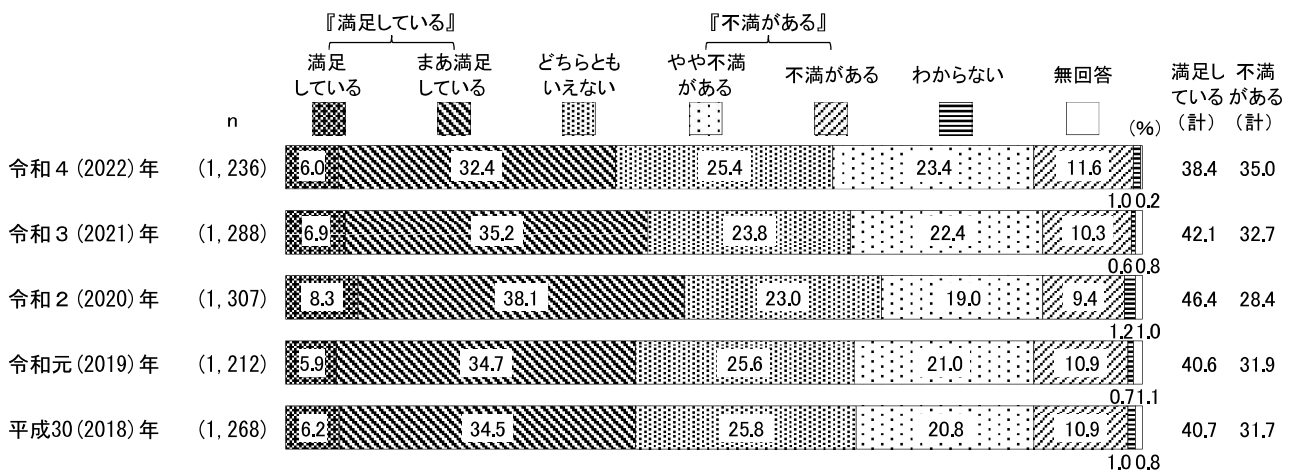
[n=1,236]

1 満足している	6.0%	4 やや不満がある	23.4%
2 まあ満足している	32.4	5 不満がある	11.6
3 どちらともいえない	25.4	6 わからない	1.0
		(無回答)	0.2



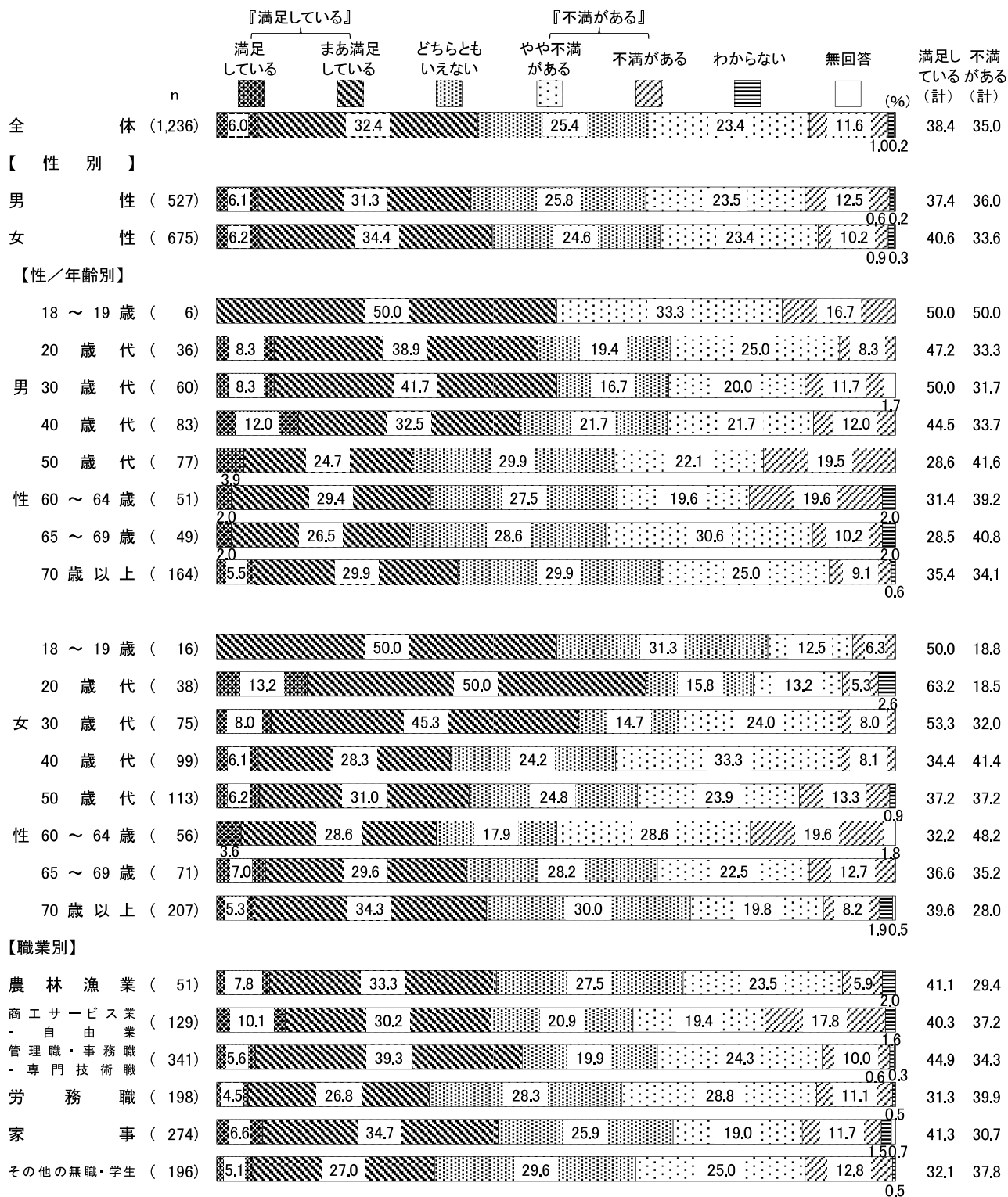
(n=1,236)

全体でみると、「満足している」(6.0%)と「まあ満足している」(32.4%)の2つを合わせた『満足している』(38.4%)が4割近くとなっている。一方、「やや不満がある」(23.4%)と「不満がある」(11.6%)の2つを合わせた『不満がある』(35.0%)は3割台半ばとなっている。また、「どちらともいえない」(25.4%)が2割台半ばとなっている。



過去の調査結果と比較すると、『満足している』が前々回(令和2(2020)年)より減少傾向が続き、前々回(令和2(2020)年)より8.0ポイント減少している。

【性別・性／年齢別・職業別】

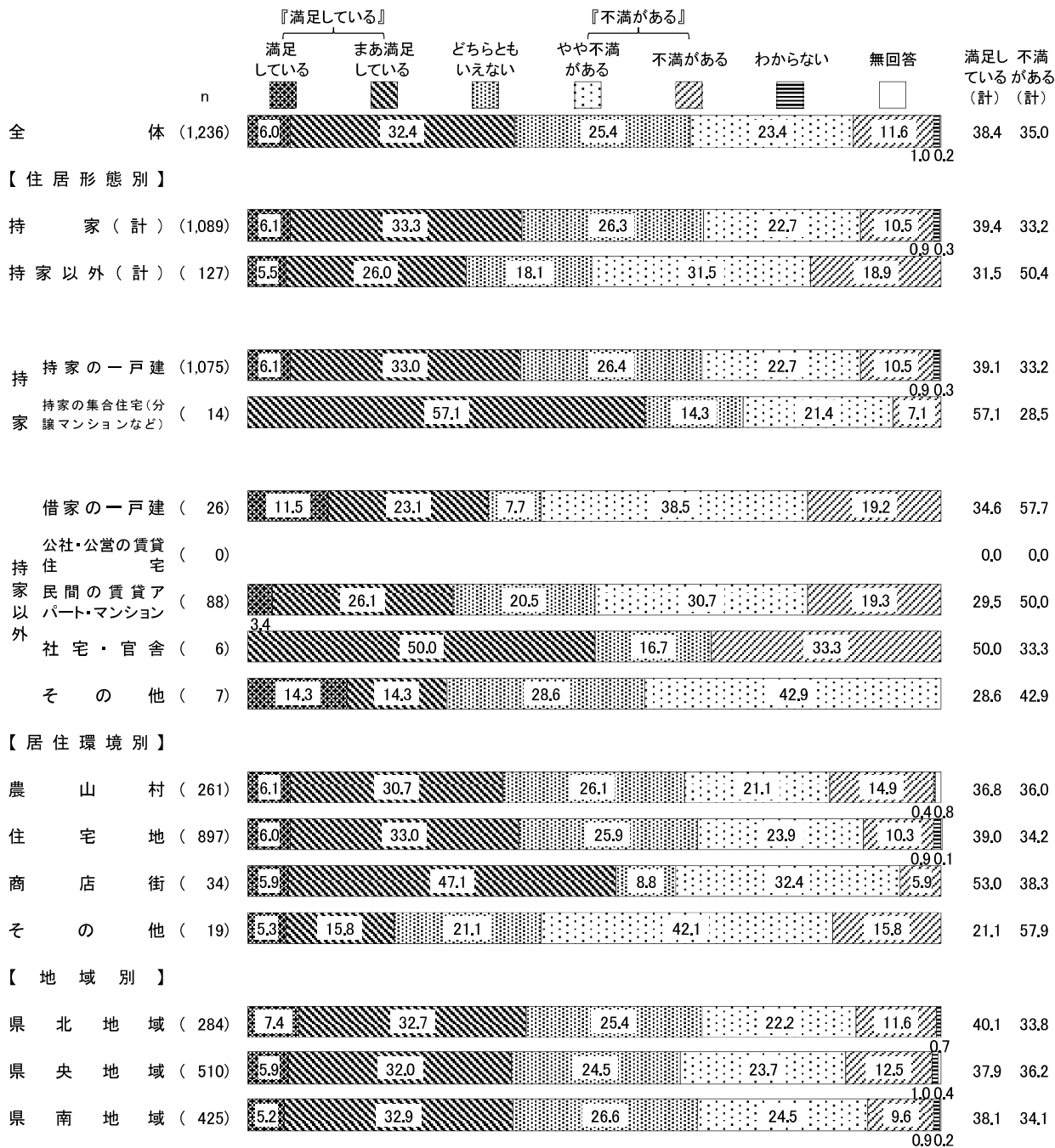


性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、『満足している』では〈女性20歳代〉が63.2%と高くなっている。一方、『不満がある』では〈女性60～64歳〉が48.2%と高くなっている。

職業別でみると、『満足している』では〈労務職〉が31.3%と低くなっている。

[住居形態別・居住環境別・地域別]



住居形態別で見ると、『不満がある』では〈持家以外 (計)〉(50.4%) が〈持家 (計)〉(33.2%) より17.2ポイント高くなっている。

居住環境別で見ると、『満足している』では〈商店街〉が53.0%と高くなっている。

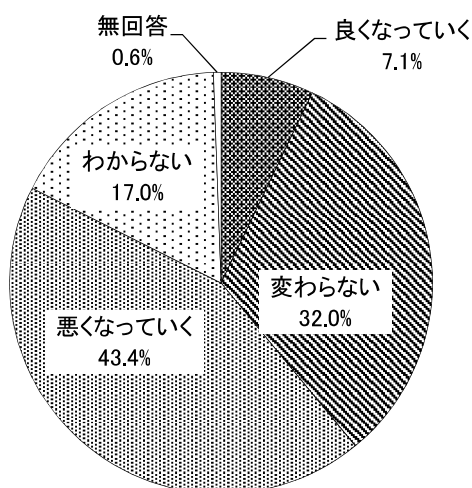
地域別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

(4) 今後の暮らしの状況

問4 あなたの暮らしは、これから先どうなっていくと思いますか。次の中から1つ選んでください。

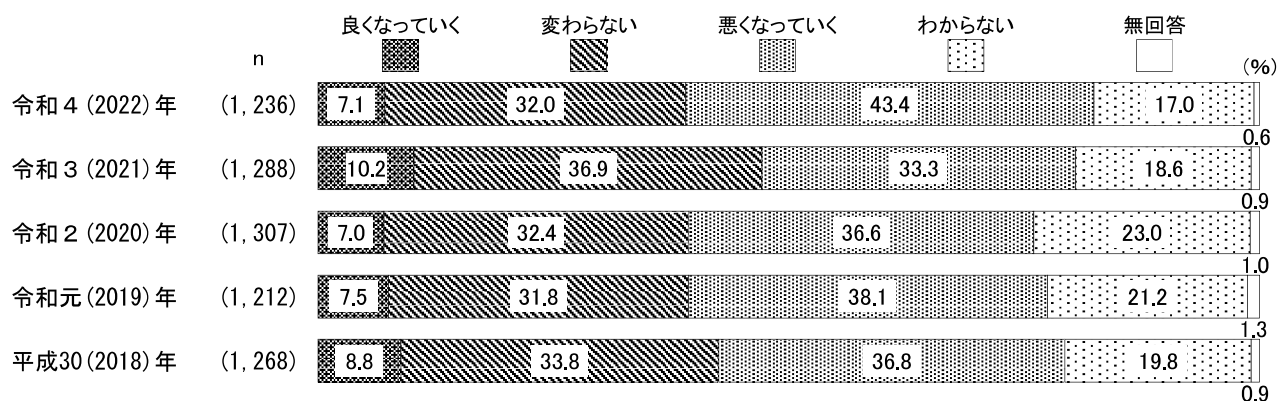
[n=1,236]

1 良くなっていく	7.1%	3 悪くなっていく	43.4%
2 変わらない	32.0	4 わからない	17.0
		(無回答)	0.6



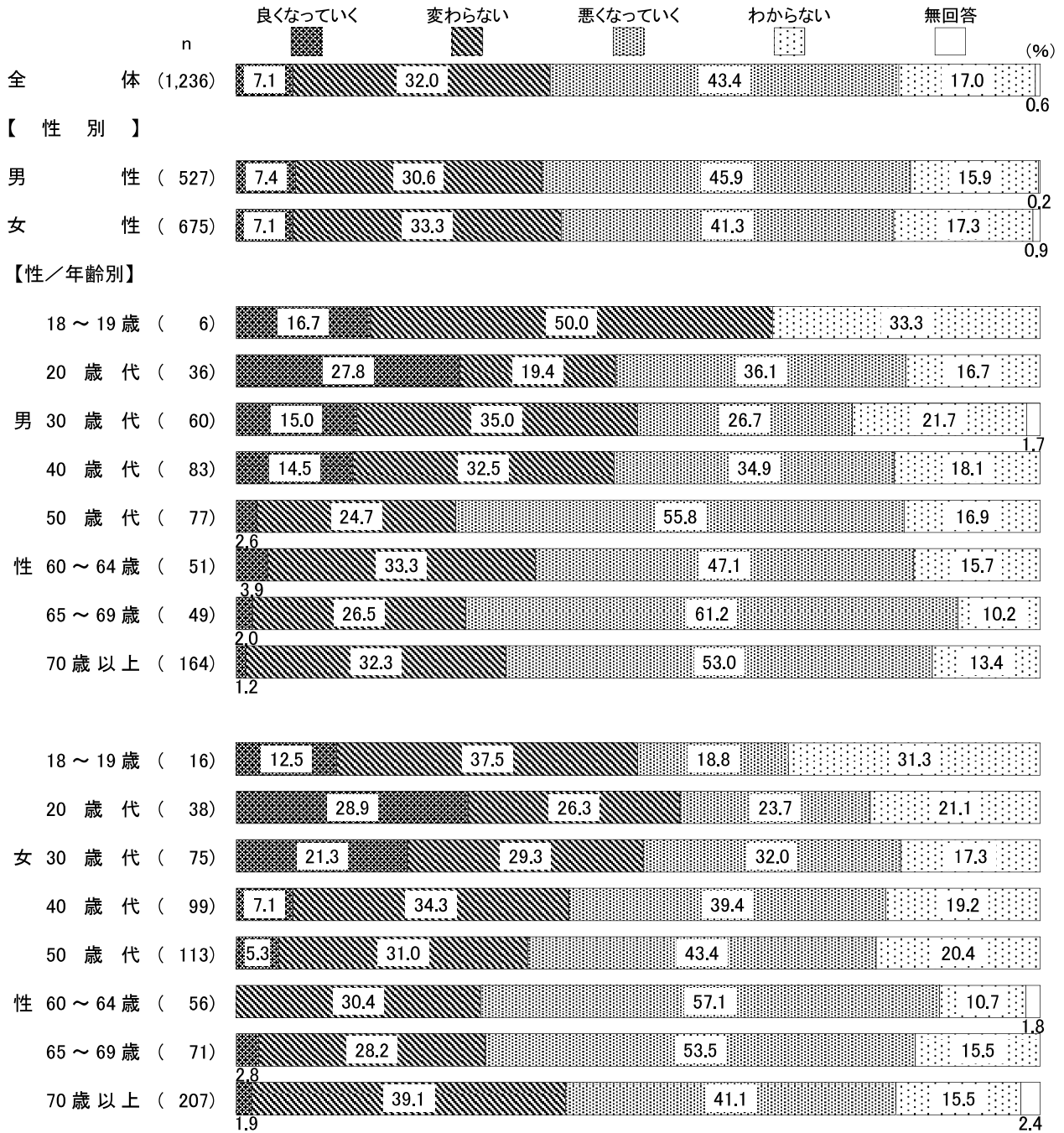
(n=1,236)

全体で見ると、「悪くなっていく」(43.4%)が4割台半ば近く、「変わらない」(32.0%)が3割強となっている。



過去の調査結果と比較すると、前回(令和3(2021)年)より「悪くなっていく」が10.1ポイント増加している。

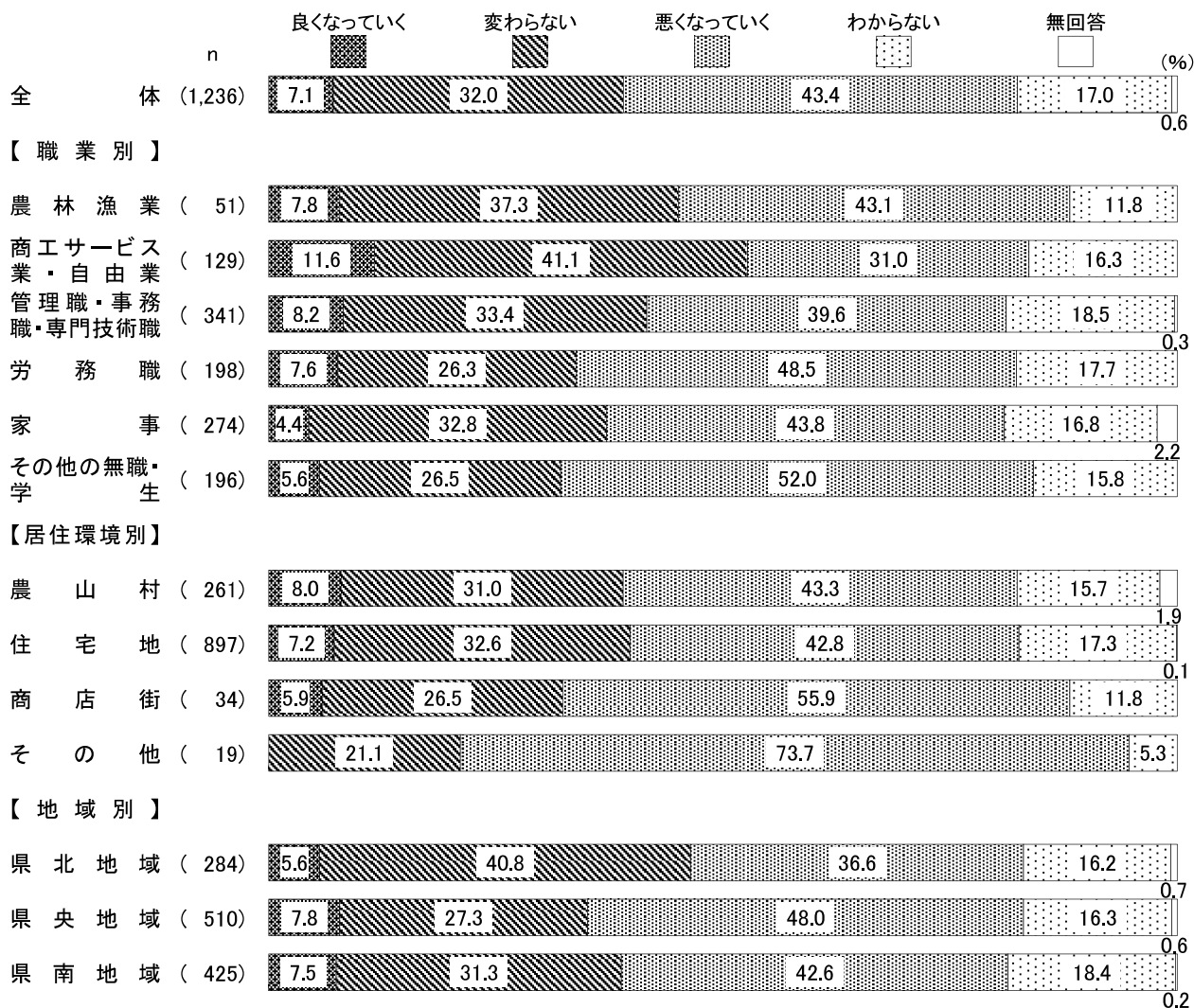
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「悪くなっていく」では、〈男性〉（45.9%）が〈女性〉（41.3%）より4.6ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「良くなっていく」では〈女性20歳代〉が28.9%、〈男性20歳代〉が27.8%と高くなっている。一方、「悪くなっていく」では〈男性65～69歳〉が61.2%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



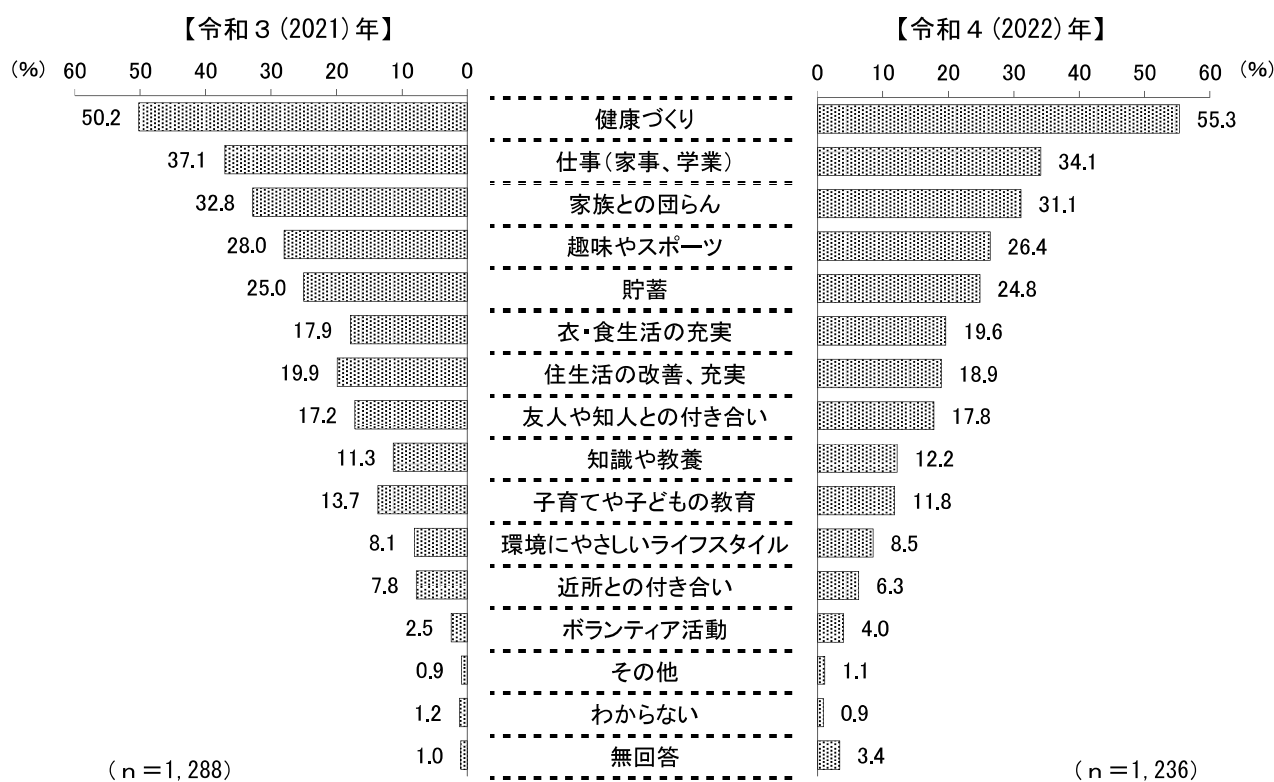
職業別でみると、「悪くなっていく」では〈その他の無職・学生〉が52.0%と高くなっている。
 居住環境別でみると、大きな傾向の違いはみられない。
 地域別でみると、「変わらない」では〈県北地域〉が40.8%と高くなっている。

(5) 今後の暮らしで力を入れる点

問5 あなたは、今後の暮らしの中で、どのような点に力を入れていきたいと思いますか。
次の中から3つまで選んでください。

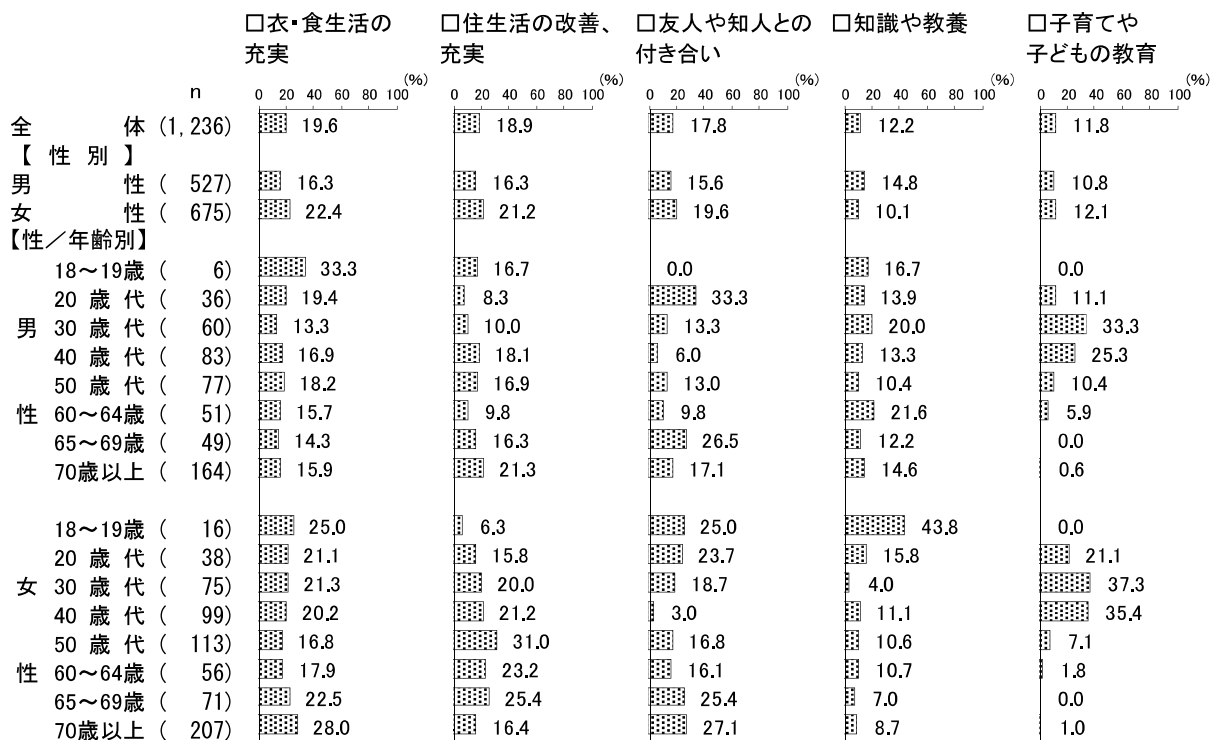
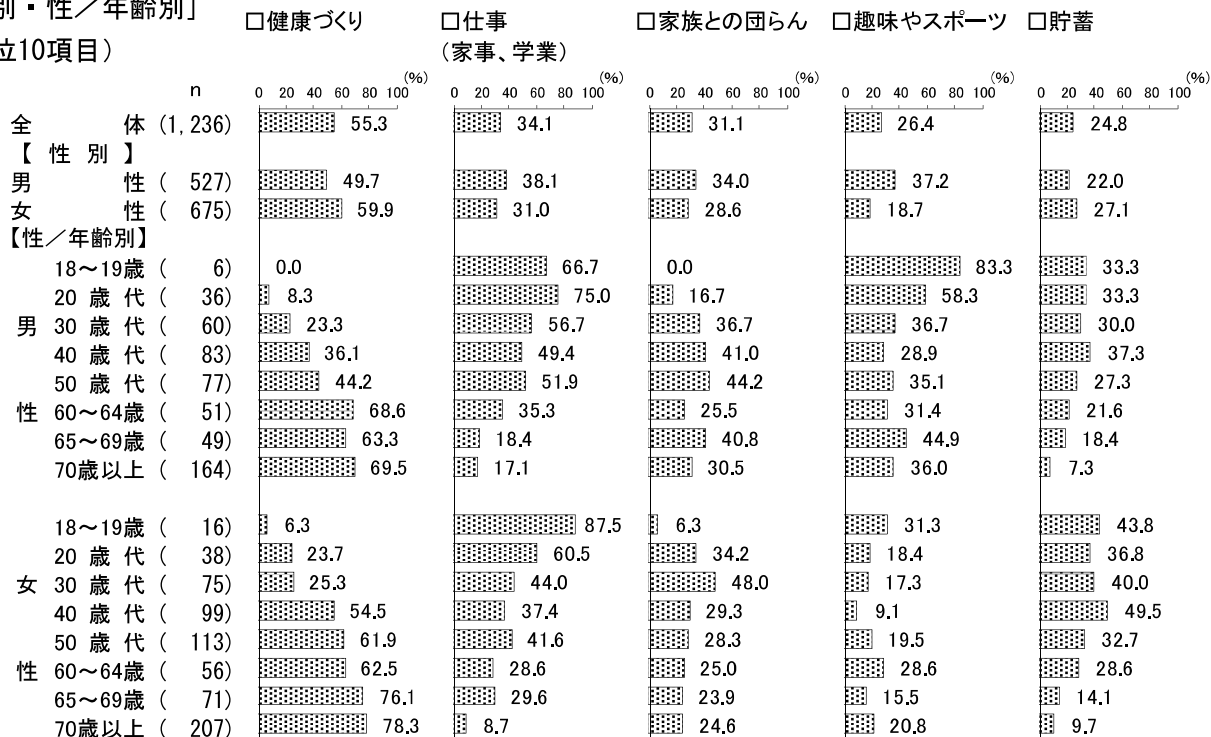
[n=1,236]

1	仕事(家事、学業)	34.1%	9	家族との団らん	31.1%
2	知識や教養	12.2	10	近所との付き合い	6.3
3	貯蓄	24.8	11	友人や知人との付き合い	17.8
4	趣味やスポーツ	26.4	12	子育てや子どもの教育	11.8
5	ボランティア活動	4.0	13	健康づくり	55.3
6	衣・食生活の充実	19.6	14	その他	1.1
7	住生活の改善、充実	18.9	15	わからない	0.9
8	環境にやさしいライフスタイル	8.5		(無回答)	3.4



全体でみると、「健康づくり」(55.3%)が5割台半ばで最も高く、次いで「仕事(家事、学業)」(34.1%)、「家族との団らん」(31.1%)、「趣味やスポーツ」(26.4%)、「貯蓄」(24.8%)の順となっている。前回(令和3(2021)年)の調査結果と比較すると、「健康づくり」が5.1ポイント増加している。

[性別・性／年齢別]
(上位10項目)

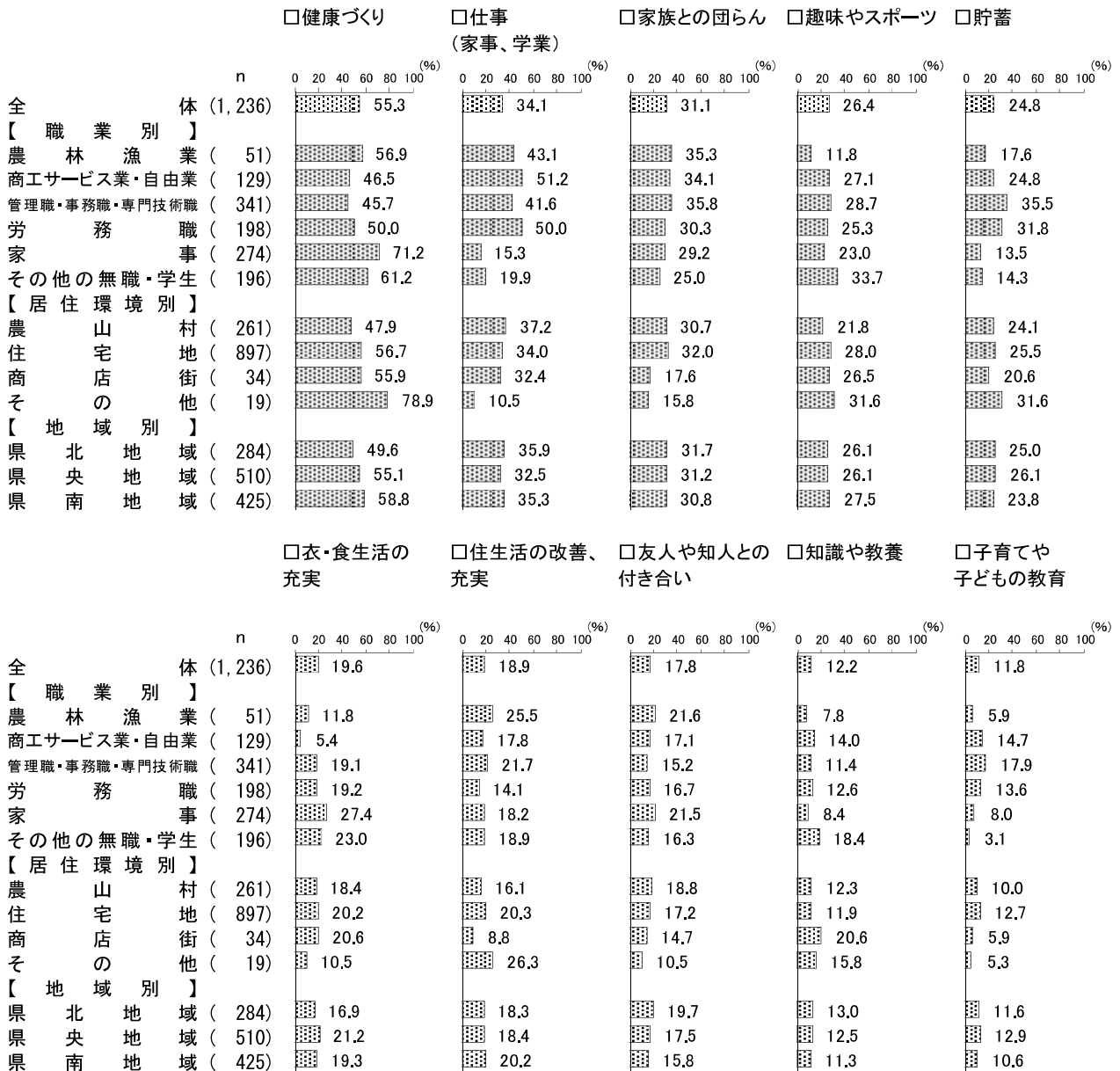


性別でみると、「趣味やスポーツ」では〈男性〉(37.2%)が〈女性〉(18.7%)より18.5ポイント高くなっている。一方、「健康づくり」では〈女性〉(59.9%)が〈男性〉(49.7%)より10.2ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「仕事(家事、学業)」では〈男性20歳代〉が75.0%と高くなっている。「貯蓄」では〈女性40歳代〉が49.5%と高くなっている。「子育てや子どもの教育」では〈女性30歳代〉が37.3%、〈女性40歳代〉が35.4%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]

(上位10項目)



職業別で見ると、「健康づくり」では〈家事〉が71.2%と高くなっている。「仕事(家事、学業)」では〈商工サービス業・自由業〉が51.2%、〈労務職〉が50.0%と高くなっている。「貯蓄」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が35.5%、〈労務職〉が31.8%と高くなっている。

居住環境別で見ると、「健康づくり」では〈農山村〉が47.9%と低くなっている。

地域別で見ると、「健康づくり」では〈県北地域〉が49.6%と低くなっている。